

学生の皆さんへ

教務主事 松本 佳久
専攻科長 本田 久平
総合情報センター長 嶋田 浩和

本校における生成 AI 等の利用に関する注意

昨今、ChatGPT 等に代表される高度な生成 AI の利用者が急増しており、文章のみならず画像や音声等の生成を行う AI も普及するなど、生成 AI の開発や利活用が急速に進展しています。生成 AI を含む AI の利活用は、利便性や生産性の向上、さらには人間の様々な能力をさらに発揮することを可能とするなど、経済社会を前向きに変えるポテンシャルがある一方で、AI の信頼性や誤用・悪用などの懸念やリスクも指摘されており、バランスを取りながら進めていく必要があるとされています。生成 AI を利活用することが有効と想定される場面としては、学生による主体的な学びの補助・支援などが考えられます。

この他にも、生成 AI は、今後さらに発展し社会で当たり前に使われるようになることが想定されます。しかしながら、現状において、ChatGPT をはじめとする生成 AI を学修に利用する際には、様々な注意が必要です。以下にその注意点を示します。

【学修における生成 AI の利用に関する注意事項】

- ・高専における学修は、学生が主体的に学ぶことが本質であり、生成 AI の出力をそのまま用いて学生自らの手によらずにレポート等の成果物を作成することは、不適切と考えます。
- ・授業によっては、生成 AI の利用を禁止したり限定したりすることがあり、場合によっては、生成 AI を利用したレポート等の作成が、他者の文章などの文句または説を盗みとして自分のものとして発表する不正行為とみなされる可能性があります。担当教員の指示に従ってください。
- ・他人の著作物の利用について、著作権法に定める権利（複製権や公衆送信権等）の対象となる利用（複製やアップロード）を行う場合には、原則として著作権者の許諾が必要となります。AI を利用して生成した文章等の利用により、既存の著作物に係る権利を侵害することのないように留意してください。
- ・担当教員の指示に従ってレポート等に生成 AI を利活用した場合には、利活用した旨や利活用した生成 AI の種類・箇所等を明記してください。教科目によっては担当教員の判断で小テストや口述試験等を行う場合があります。
- ・大規模言語モデルを活用した生成 AI は、基本的に、ある語句の次に用いられる可能性が確率的に最も高い語句を出力することで、文章を作成していくものです。AI により生成された内容に虚偽が含まれている又はバイアスがかかっている可能性など技術的問題もあります。従って生成された結果が、正しい内容か誤った内容なのか、自身でしっかりと確認してください。
- ・セキュリティ上の留意点として、機密情報や個人情報等を生成 AI に入力しないでください。

生成 AI に関しては今後も急速な進歩が続き、皆さんの学習や本校の教育指導面への影響が変化することも想定されるため、本校は継続的な状況把握に努めるとともに、技術の進展を見守りつつ、指針等は運用状況などに応じて、適宜見直していく予定です。